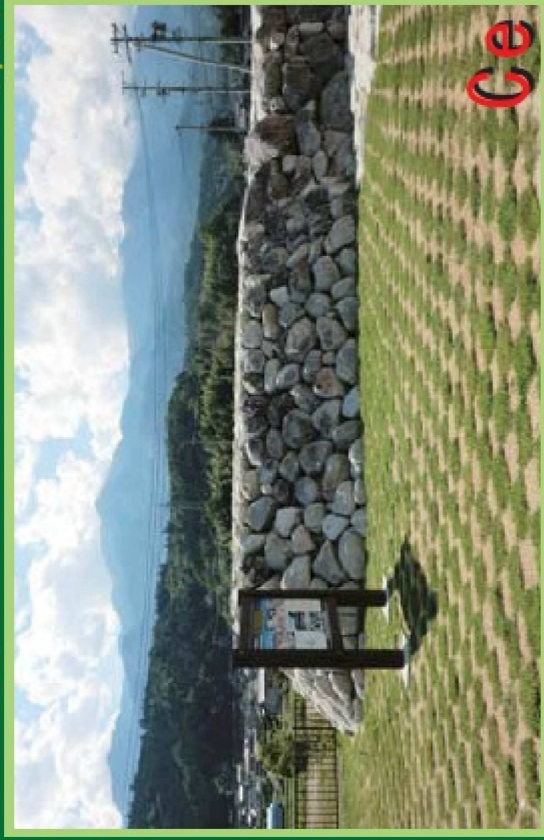


理兵衛堤防

F/T r



Ge

Ver1.0(2019.03)

災害伝承 DATA

所在地：長野県上伊那郡中川村片桐田島

緯度・経度：北緯 35 度 37 分 27.9 秒

東経 137 度 55 分 29.6 秒

伝承形式：土木構造物・工事

種類/要因：洪水/集中豪雨

災害発生：1715年（正徳5年）6月18日他

建立時期：1750～1808年（寛延3年～文化5年）

指定等：村有形文化財

周辺地形：現河床・扇状地



観光情報はこちら

史実・伝説

天竜川や前沢川の洪水に対し、松村理兵衛忠欣とその子・孫の三代にわたって築かれたものです。2010年（平成22年）、護岸工事の調査で堤防および灌漑用水路が発見され、一部は埋め戻し、一部は移築復元されています。

周辺案内

用水路の木樋の一部は、中川村歴史民俗資料館に展示保存されています。堤防の北西、田島地区には、家屋を取り囲むように上流に軸先を向けたような舟形の石垣を築き、それによって前沢川からの土石流や洪水を受け流す「お志茂の水除け」と呼ばれる構造物が見られます。